

## 平成 19 年度第 3 回千葉県博物館協議会議事録

日 時 平成 20 年 3 月 19 日 (月) 14:00～15:30

場 所 千葉県立中央博物館会議室

### 出席者 (委 員)

明石委員《議長》 小川委員 水島委員 秋田委員 大澤委員

小野委員 川津委員 河原委員 栗原委 西村委員 (博物館・文化財課)

山口文化財課長 眞田美術館長 佐久間中央博物館長

佐久間現代産業科学館長 阪田関宿城博物館長 渡辺安房博物館長

### 日 程

開 会

文化財課長あいさつ

博物館あいさつ

議 事

(1) 諮問事項

「博物館における地域振興のあり方について」

(2) その他

その他

閉 会

### <文化財課長あいさつ>

2月議会、博物館の現状、国の動きについて。 <博物館あいさつ>

本日の答申を受けて、今後よりいっそう努力していきたいと思います。 <議事説明>

(1) 諮問事項 「博物館における地域振興のあり方について」

### 議 長：

今回の議事は、諮問事項に対する答申の検討です。前回協議した内容をまとめてみました。全体的にみて「この辺はもう少し」というような点がございましたら、よろしくお願ひします。

### 委 員：

大きな目標は、入っていると思います。良く書かれています、これに魂を入れるかどうかは、これからの博物館の皆さんの努力にかかっていると思います。具体性は、これからの計画作りで織り込まれるでしょう。

### 委 員：

うまくまとめてあると思います。具体性が大切、まったくそのとおりでいいと思います。企業との連携のガイドラインを早く決めたほうが良いのではないのでしょうか。博物館を移譲

する際には、各館の設立されたときの趣旨・目的や伝統を基にした継続が大切というのが希望です。

**委 員：**

新しい展示方法を行うべきであるという一行を、どこかに入れていただけると良いという気がします。

**委 員：**

地域の求めているものの分析を徹底的に行うことが大事だと思います。具体的にどうするのかというのが引っかかりました。館の熱い姿勢が大切だと思います。

**委 員：**

地域が何を求めているのかを理解しないと、ミッションの発信ができないでしょう。

**委 員：**

情報発信がうまく機能し、地域の人と博物館が結びつき、気軽に博物館に行くことができ、地域と歴史を愛する人が育てば良いと思います。

**委 員：**

博物館職員のやる気に対して評価できるような、達成感を得られるような評価のしかたを考えていただきたいです。

**委 員：**

人は変えられませんが、意識は変えられます。仕組みを変える必要があると思います。

**委 員：**

同じ地域にあっても発信基地が違うことにより、展示物や開催の意味合いが違ってくると思います。移譲の話がありましたが、県立は県立で維持できるのであれば存続して、文化や歴史を伝えられるような有効活用をしていけたらなと希望します。

**委 員：**

方向付けは色々網羅されていますが、迫力が無いのかなと思います。具体的にこれだけはやって欲しいというようなものが強調できればと思います。

**委 員：**

次のステップが読み取りにくいのではないのでしょうか。地域振興という目的を掲げたと

きに、博物館でなければできないことがどれで、それを推進していくためには何が大事な  
のか、何が足りないのかというところを議論できたらと思います。

委 員：

県立と市町村立の博物館のネットワーキング、博物館全体の仕組みづくり、千葉県の博  
物館行政はどうするかということを、課題として書き込むことが必要ではないかと思いま  
す。

委 員：

障害のある方への対応策を入れられないものでしょうか。

委 員：

千葉県の文化・博物館行政の中で、博物館のあり方を検討していただきたいと思いま  
す。

委 員：

博物館設置構想の再設定、市町村との関連を書き込んではどうでしょうか。

委 員：

今後大型の箱物を造りがたくなる状況のなかで、三島小の教室博物館や山のフィールド  
ミュージアムなど、地元で根ざしたようなネットワークが進行している というような状況  
を載せるべきではないでしょうか。また、我々の提言として、環境問題の副読本ぐらいは  
博物館で作ってもらおうというようなことを入れても良 いのではないのでしょうか。

委 員：

ネットワークを通じて県内の新しい問題について情報を得られるというようなことも大  
事だと思うので、今後の博物館の情報発信のあり方というようなところも、具体的に書き  
込んでも良いのではないのでしょうか。

委 員：

この答申のコンセプトはこれなんですよと表現できるものがあればと思うのですが。「知  
の循環型社会の基盤づくり」というので出してはどうか。情報を発信してま  
た返してもらって、2ウェイ・キャッチボールしていくということですが。

委 員：

「知の循環型社会をめざして」ということですね。

**委 員：**

「知のネットワークづくり」も良いのではないのでしょうか。

**委 員：**

博物館は個人との接点はありますが、企業との連携、社会的なユニットとのかかわりはどうでしょうか。大学では、産学協同が行われていますが。

**事務局：**

県内の企業等と「展示・運営協力会」というかたちで、運営の一環を担っていただいています。

**委 員：**

地域づくりが色々なところで行われ、博物館との連携が起こっています。それを記録していく役割も博物館にはあるのではないのでしょうか。

**委 員：**

小さいときから博物館に親しむような環境づくりが必要だと思います。小さいときからふるさとを愛する機会に触れさせることで、歴史と博物館がつながっていくのだと思います。

**委 員：**

知のネットワークづくり、県がしっかりして市町村と連携していくという追い風が吹いています。地域振興にからめて「知のネットワークづくり」として載せていきましょう。

今日の意見を反映した修正により答申を作成したいと思います。

**議 長：**

貴重な意見ありがとうございました。本日の意見を付け加えて答申します。

終 了